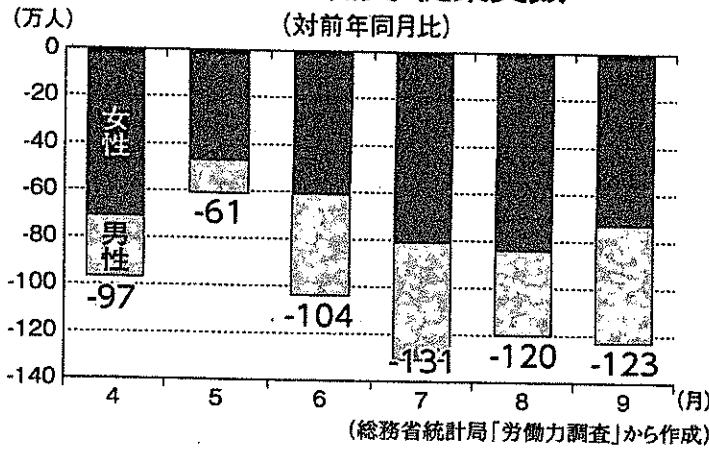


目でみる経済

非正規の職員・従業員数

(対前年同月比)



コロナ禍、女性の非正規を直撃

非正規労働者を取り巻く雇用情勢が悪化しています。とりわけ女性雇用への打撃が深刻です。役員を除く非正規の職員・従業員数は

9月、前年同月比で123万人減少しました。3月から7カ月連続でマイナス圏に沈み、回復基調には至っていません。

5月にいったん減少幅が縮小したものの、6月から4カ月連続で前年同月比100万人以上の減少が続いています。7月には131万人減となり、統計開始以来最大の減少幅を記録しました。経営状態の悪化に伴い、非正規雇用の人件費を削る動きが顕著となっています。

9月から9月までで、約54万人の雇用が失われました。男性の16万人減に対し、3倍以上です。前年同月と比較しても、非正規雇用の減少に占める女性の割合は、およそ6〜7割と半数以上を占めます。

女性の非正規が多い宿泊や飲食、小売りなどの業種が打撃を受けたことが響きました。

コロナ危機の長期化で、企業が新規雇用を抑制する傾向はさらに増すとみられます。

国の支援策を継続し、必要な人へ速やかに届けられるよう制度を改善することが喫緊の課題です。(小村優)

特に大きな打撃を受けているのが、女性の非正規労働者です。1